

<週報No.2, 866> 2, 977 回例会

2019年1月11日(金)

■会長/古屋 了 ■幹事/加藤 明博

◆司会=伊藤武利 SAA

◆ゲストビジター=本日はいらっしゃいません

◆出席報告

本 日	76.19%	14名欠席
前 回 訂 正	81.82%	10名欠席

◆ラッキーナンバー=No.5・12・14・22・24

◆ニコニコボックス=●古屋了君、加藤明博君=会員の皆さん新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします●太田信男君、有賀昭彦君、山崎晃君、増澤洋太郎君、森幸俊君=あけましておめでとうございます皆様元気でご活躍を●北川和彦君=古屋会長、加藤幹事後半年がんばってください。今年も、よろしくお願いたします。●早出由男君=ロータリークラブがますます発展されますようご祈念申し上げます●小口武男君=本年後半は特に皆様ご協力をお願いします。●八幡一成君=今年もよろしくお願いたします。●折井俊美君=12月に40回目の結婚記念日にお花を頂きありがとうございます。●玉本広人君、山田文雄君=いよいよ一日づつ迫ってくる時の為に準備を進めます。●宮坂康弘君=結婚記念日のお花をありがとうございます。忘年クリスマス例会の際下手な司会に御協力頂き感謝いたします。●小針哲郎君=年末のクリスマス忘年例会ありがとうございます。●川村総一郎君=正月は平成最後の一般参賀に行ってきました。5時間並びました。●ラッキーNo.=5名より

◆会長告知・古屋了会長=新年明けましておめでとうございます。この半期は、皆様よりいただきました様々なご協力とご配慮に改めて感謝申し上げます。また昨年末の忘年例会には「フェリススクレール」までお運びいただきありがとうございます。親睦委員会の皆さんの企画で半期を和やかに締めくくる事ができました。

皆様には、年末年始をどの様にお過ごしだったでしょうか。わたしは大晦日に小田原の「蒲鉾博物館」を訪れま



した。お正月限定の最高級かまぼこ「はじめ」は、そのパッケージの題字「一」の書を毎年著名人に依頼しているとのことで、平成元年以降、“山崎努”“田崎真也”“渡辺貞夫”など31人による「一」の文字が壁一面に展示されておりました。その様々な「一文字」から伝わる人の心根と人間の多様性を感じ、気づいたら、涙が頬を伝わっていました。私のお気に入りは柔道家“山下泰裕”さんの一文字でした。

元旦はお天気に恵まれ、初日の出を拝んだ方もおいでになった事と思います。夫婦二人で迎えた我が家の元旦は、合同庁舎の隣にある諏訪文化会館2階大広間での新年勤行会からはじまりました。3日は原村の成人式で仕事始め。熊本県北部地震には驚きました。その後、“中村恒也”さんの訃報に悼みいりながら己亥の年が始まりました。

さて、国際関係に目を転ずれば、EUに象徴されるように多国間協調から自国での政治的影響力を優先するナショナリズムへ、フランスのイエローベストデモのような階級間闘争へと変化しているようです。日本は内向きになったアメリカと中華思想で未来を描く中国とが牽制し合う渦中であって韓国やロシアをはじめ各国との新たな合従連衡で柔軟な国際協調を迫られております。地方の経営課題は商工会議所新年会で岩波会頭が仰った様に「人不足」の中、「働き方改革」「生産性向上」です。ロータリアンとしての職業奉仕の大切さを再確認しなければなりません。今期、当クラブでは「腹を割り、思いやりをもって支えあう人の絆こそ即奉仕」との思いで運営させて頂いております。5大奉仕・財団・米山・会員増強等々重点活動は道半ば更なる御協力お願いたします。本年一年お健やかにロータリーをお楽しみ頂けますよう決意新たにスタートいたします。

◆幹事報告・加藤明博幹事=あけましておめでとうございます。幹事の大役も後半になりましたが、がんばります。この時期新年会も多いと思いますがインフルエンザや飲み過ぎにはご注意ください。①本日は年頭挨拶で年男の方々に挨拶をして頂きます。②一月の例会ですが18日年頭所感で諏訪市長がお見えになります。25日は職業奉仕委員会のクラブフォーラムになっております。③前会員で北海道に転勤されました大岩会員より年賀状が届いております。④本日例会後に月初



の理事会を行いますので、理事の方はお集まりください。

◆新年の乾杯・三井章義会員

◆新年例会 年男(亥年)による年頭

挨拶 ●八幡一成会員＝毎年年初の



例会に年男年女の方々が新年の挨拶をされる姿を見て「まだ5～6年先だな」などと思っていたのですが、あつという間に自分の番になってしまいました。



私は昭和34年(西暦1959年)生まれですので、今年の誕生日がくると満60歳となります。

年頭に当たりまして、私の稼ぎの源である諏訪湖の漁労について少し歴史を振り返ってみたいと思います。諏訪湖の漁労についての資料を読み返して見ますと、江戸時代初期は諏訪湖に出漁できるのは、諏訪藩から漁業権を与えられた五つの村に限られていました。江戸時代半ばをすぎるとその他の村も出漁できることになりました。明治になると諏訪湖は県の管轄となり、それまでの漁業特権はなくなって自由に出漁できるようになりました。無統制に乱獲する時代となってしまったため、瞬く間に魚は激減しすっかり魚が取れなくなってしまいました。その頃には諏訪湖の三分二を埋め立てて、米を作ろうという計画すらありました。無統制であった漁師たちを結集し諏訪湖漁業組合を結成して、激減した魚族を増やす取り組みを始めました。様々な魚介類が諏訪湖へ移入されましたが、成功したのはワカサギだけだったようです。

大正4年3月に霞ヶ浦より約400万粒のワカサギ受精卵を輸送し、下諏訪で孵化させ承知川先の諏訪湖に放流しました。当時、霞ヶ浦から諏訪湖までワカサギの卵を運ぶには、国鉄常磐線から中央線に乗り換え汽車で三昼夜かかりました。貨物列車での輸送には諏訪の漁業関係の方々が付き添い空気と湿気の保持に気を使いながら苦勞をして運びました。諏訪湖に放流されたワカサギは翌年の1月には体長11センチに成長して繁殖の見込みがあり、大正5年2月に再び400万粒の卵を移入し沢山のワカサギが獲れました。翌年の大正6年3～4月には産卵のため六斗川を遡るワカサギで水の色が縞模様にかわる程の成功となりました。昭和40年代後半には年間300トンを超えるワカサギが獲れていましたが、平成になると年間100

トン以下となり、平成28年には9トンになってしまいました。その後は漁業関係者の方々の努力で徐々に回復しつつあります。漁業に限らず諏訪湖あつての諏訪地域だと思っていますので、諏訪湖を大切にしてお返しに感謝し今年一年を過ごしたいと思います。今年は大変の年で4月には天皇陛下がお変わりになります。秋には恐らく増税になる事でしょう。さらにはキャッシュレス化も進む事でしょう。電子マネーは雑誌を買うときにしか使いたしません食わず嫌いにならずに今年使ってみようと思います。今年もよろしくお願いいたします。

●岩波寿亮会員＝あけましておめでとうございます。5分の予定が15分になってびっくりしております。



仕事の建設業で問題となったのはプレミアム商品券の扱いをどうするのか社内で議題にあがっています。リフォームはカード払いができます。カードのポイントを貯めたいお客様への対応もどうするのか現在議論をしております。会社

関係で更に悩むのは今年の10連休をどう対応し更には必ず5日有給休暇を積極的にとらないといけない事もありなかなか上手くいきそうに無いので頭が痛いところです。私はイノシシ年でもうこんなに年をとったのかと感じております。70歳の古希の時は同級会等行いましたが、今のほうがショックが大きいです。年齢の中で40歳の不惑の年に戸惑ってばかりいて、言葉通りこんな事いいのか悩んでおりました。今このような立場になってみて思い返す事は、そろそろ潮時の頃と思っています。まだ若いうちにとの思いで昨年末ドイツへ行って来ました。JALカードで貯めたマイルを使ってアイスレーベ、イッタンベルクの街を散策してまいりました。今年の10月に商工会議所の会頭を下りようと計画しております。この中でお願いしないとイケないと思いますのでその時はよろしくお願いいたします。

◆今後の例会日程

1月18日	金	年頭所感・諏訪市市長
1月25日	金	クラブフォーラム 卓話
2月1日	金	クラブフォーラム 卓話
2月8日	金	クラブフォーラム ガバナー補佐

執筆担当 北澤光彦